



## アストラムラインの新型車両の導入について

アストラムラインは開業から23年が経過し、車両の老朽化が進んできたことから、アストラムライン全24編成の更新を

2期に分けて実施することとし、この度、新型車両11編成(66両)の製造を三菱重工業株式会社に発注しました。

1期目の新型車両11編成は2019年度から2025年度の間で順次導入し、2期目で残る13編成の導入を予定してい

ます。

### 【新型車両について】

(1) 開業から23年に亘って定着したアストラムラインのイメージやシンボルカラーを継承しつつ、新しさを感じさ

せるデザインとします。

(2) ベビーカーや車椅子のスペースを整備するなど、子育て・福祉に配慮するとともに、快適性や安全性の向上、

省エネルギー化に配慮した車両とします。

- ① 快適性の向上 : 新型車両シート・効率的な空調整備
- ② 安全性の向上 : 扉引き込みや戸挟みに対する安全性に配慮した乗降扉
- ③ 省エネルギー化: 軽量化やリサイクル性を考慮したアルミ車体の採用



Copyright(C) 2017 Hiroshima Rapid Transit Co., Ltd. All rights reserved.